

ハイテクフローリングコート **つや消し40** **つや消し20**

様々なつや消しフローリングに対応した
2タイプの「つや消し樹脂ワックス」。

つや消しフローリング本来のつや感をあまり変えずに、床を傷や汚れから守る
「フローリング用つや消し樹脂ワックス」。
優れた耐水性を発揮する高密着タイプで、トラブルの起きやすい水による
ワックス皮膜の白化や剥がれを軽減します。



つや消し40

塗布光沢を約40に設定。

光沢値40前後(4~5分つや程度)のフローリングの質感をあまり変えることなくワックス仕上げが行えます。

※設定値(光沢値約40)より光沢の低いフローリングに使用すると、つやが出てしまうことがあります。

つや消し20

塗布光沢を約20に設定。

光沢値20前後(2分つや程度)のフローリングの質感をあまり変えることなくワックス仕上げが行えます。

※設定値(光沢値約20)より光沢の高いフローリングに使用すると、白っぽく仕上がる場合があります。



ハイテクフローリングコート

つや消し40

つや消し20

つやを出さずに床を保護。住環境に適したフローリング用つや消しワックス。

●つや消しフローリング本来のつや感を生かした仕上がり

つや消しフローリングのつや感に合わせ、ワックスを選定することにより、フローリングのつや感をあまり変えずにワックス仕上げが行えます。

■ 光沢値約15のフローリングに塗布



■ 光沢値約40のフローリングに塗布



「ハイテクフローリングコートつや消し20」は、光沢値20以下のフローリングに適します。設定値(光沢値約20)より光沢の高いフローリングに使用すると、白っぽく仕上がる場合があります。
 「ハイテクフローリングコートつや消し40」は、光沢値40前後のフローリングの質感をあまり変えたくない時に適します。
 設定値(光沢値約40)より光沢の低いフローリングに使用した場合つやが出ますが、特に仕上がりに影響はありません。
 ※事前に光沢計でフローリングの光沢値を確認し、ワックスを選定することをお勧めします。

●優れた耐水性を発揮する高密着タイプ

UV塗装されたフローリング材にも優れた密着性を発揮。
 防水ポリマー配合により耐水性にも優れ、従来のワックスに比べ、ワックス皮膜の剥がれや白化を軽減します。

●耐スリップ性を配慮

住宅における安全面を考慮した、耐スリップ性を発揮します。

■ 耐スリップ試験データ

	摩擦係数
ハイテクフローリングコートつや消し40	0.52
ハイテクフローリングコートつや消し20	0.51
ワックス無塗布	0.45

※試験条件: JFPA-12 静摩擦係数測定方法による。
 (ASTM D 2047 ジェームスマシン使用 23℃、55%RH.)
 ※試験板はA社製UV塗装フローリングを使用。
 ※摩擦係数は試験条件により異なります(データは目安値です)。

●シックハウス問題に配慮

シックハウスの原因物質としてあげられた厚生労働省指針値該当成分(13物質)を原料として使用しておりません。

●抗菌剤配合

抗菌剤配合により、衛生的な床面を維持します。

NET. 4L (1ケース3本入り)
 標準使用量: 100m²/L (1回塗りの場合、1本で約400m²)

◎使用できない床がございますので、製品の裏面・MSDSをご確認の上、ご使用ください。

使用上の注意

- ワックスを取り出す前は、つや消し剤を均一に混ぜるため、必ず容器を振ってください。
- つや消し剤の分散が不十分な場合、つやが下がらなったり、大変滑りやすくなる場合がありますので、容器を充分振った上でご使用ください。特に初めてご使用になる場合には、保管状況に関わらず容器を上下に10回程度強く振ってからご使用ください。
- 鏡面仕上げ塗装(高光沢・厚塗り仕上げ塗装)のフローリングに使用するとつやムラ等の仕上がり不良になることがあります。
- フローリング床によっては、質感の変化や密着しないものがありますので、事前確認の上ご使用ください。
- 水や食器用洗剤、ペットの尿などを床に放置しますと、ワックス皮膜が白化したり剥がれたりすることがあります。気づいたらすぐに拭き取ってください。
- 樹脂ワックスはフローリングの表面塗装に比べ耐久性に劣りますので、スリッパ歩行などで徐々に傷付きます。傷が目立ってきたら、床面の汚れを除去した後、ワックスを塗布して補修してください。

●つや出しタイプ●

輝きのある光沢仕上げには、「ハイテクフローリングコート」をご使用ください。



18L

4L×3入り

株式会社 リンレイ 業務製品事業部

〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-13 TEL.03-3541-4851(代)
 ●東京(業務製品部) 03-3543-2281
 ●大阪06-6394-4571 ●名古屋052-581-8241
 ●札幌011-521-5271 ●仙台022-223-6868 ●広島082-232-2333
 ●高松087-834-2738 ●福岡092-883-7000



FM589905/ISO9001:2008
 EMS589904/ISO14001:2004
 兼野事業所認証登録